

滞空時間競技会の開催案内

弘前大学大学院理工学研究科
附属医用システム創造フロンティア

弘前大学大学院理工学研究科附属医用システム創造フロンティアでは下記の通り、滞空時間競技会を開催します。これは飛行体の滞空時間を競うもので、高校や大学で学んだ知識を駆使して、できるだけ長く空中に浮かんでいられる飛行体を開発して下さい。

応募〆切：10月10日(金)

申込先：知能機械工学科事務室・杉本(303-2号室)

TEL.0172-39-3684, E-Mail: suginao@cc.hirosaki-u.ac.jp

競技会開催日時：11月中旬または下旬の土曜日午後

競技会開催場所：弘前大学または弘前市内の体育館

競技会に関する問合せ先：知能機械工学科・稲村

TEL.0172-39-3519, E-Mail: tina@cc.hirosaki-u.ac.jp

応募資格：応募者は、高校または大学に在籍している学生に限る。

飛行体の製作規定

1. 飛行体は人工物で、動力を持たないこと。
2. 静止状態、飛行中を通じて、飛行体の大きさは最大幅が50mm以上で、かつ200mm×200mm×200mm以内に収まること。
3. 飛行体の材料は特に問わないが（ただし、気体は空気以外不可）、飛行体の重さは1g以上、100g以下であること。
4. 落下装置からの離脱のため、飛行体の重心位置に長さ30mmの縫い糸を付けること。

競技規定

1. 地上から5mの位置から飛行体を落とし（離脱用縫い糸を切り離す）、その滞空時間を競う（滞空時間の長い方が上位）。
2. 着地位置は落下点から半径3m以内とする。この円の外側に着地した場合は失格とする。
3. 飛行中に体育館の壁に接触した場合は失格とする。
4. 競技は2回行い、滞空時間の長い方を採用する。

実施要領

1. 飛行体の製作には弘前大学理工学部知能機械工学科所蔵の工具・工作機械が使用できる。
2. 応募者は、予め飛行体のポンチ絵を提出すること。
3. 飛行体の製作費として、1チーム最高5,000円まで補助する。
4. 滞空時間の長い上位3チームに景品を贈呈する。
5. 参加チーム数は最大20チームまでとし、それ以上応募があった場合は抽選とする。